

## 「叛旗」紙休刊の御詫びと御知らせ

日頃の叛旗紙定期購読、叛旗派の政治行動―政治思想に対する厳しい支持、批判を熱く感謝します。さて「叛旗」紙は、一六号（九月一日付）以降刊行されておりません。この間、私たちはただ時をやり過ぎていたわけではないのですが、全ゆる角度からの検討の結果、従来の編集局よりの政治新聞としての「叛旗」は休刊の止むなきに至りました。読者諸兄に対しては、連絡が前後し、かつ大幅に遅れました事を深く御詫び致します。休刊の期間、再刊のスタイルや見通し等については今のところ未定です。休刊に至りついた理由、事情には、政治表現上の回路、情況への作用、組織編成、財政的条件等々の意見対立が混在しております。しかし、休刊、廃刊、再刊の如何にかかわらず、読者諸兄の叛旗派に寄せられた購読意志に対しては、購読料の問題を含めて全責任をもって対処していく所存です。

加えて、この間の叛旗紙休刊状態について、多くの読者諸兄より手紙、電話等による問合せをいただきました。今後とも、能う限り迅速に、誠意ある返信を、心掛けておりますので御了承をお願い致します。

私たちはあくまでも、この悪時代に、政治は何をやるのか、組織はどう可能かを、私たちの累積や諸派の現状を検証しつつ、全力で追求する所存です。全く新たな転換へ至れるか、個々へ還った上で各々の途をたどるかはや断を許しませんが、私たちは昨夏の三上治離盟、今夏六・一八集会等を経ており、時間がかかろうとも筋道だけは、はっきりと公開していく心算です。

以上、御詫びと御知らせをもって、誠に身勝手ながら、もう暫く私たちの行末を見守って戴きたいと思えます。（尚、問い合わせ等は従来通り、蒼社までお願い致します。）

読者各位 昭和五十一年十二月

編集局

<編注> これのみは原物が入手できなかったため「<叛旗>解体」のタイプ版を使用した。